

社会保険料 増加対策

平成22年3月から（実際の納付は4月から）社会保険料（健康保険料・介護保険料）の負担が増えます。
 具体的なには、以下の通りです。

- 健康保険料：1.16%（8.24% ⇒ 9.40%〜）
 - 介護保険料：0.31%（1.19% ⇒ 1.50%〜）
- ⇒ 合計 **1.47% の増加(40歳以上)**

具体的な額は、下表の通りです（現在の保険料から「いくら増えるのか」の表です）。

報酬月額 (給料の額)		増加額			
		介護保険非該当 9.40%		介護保険該当 10.90%	
円以上	円未満	全額	折半額	全額	折半額
円以上	円未満				
~	63,000	672.8	336.4	852.6	426.3
63,000	~ 73,000	788.8	394.4	999.6	499.8
73,000	~ 83,000	904.8	452.4	1,146.6	573.3
83,000	~ 93,000	1,020.8	510.4	1,293.6	646.8
93,000	~ 101,000	1,136.8	568.4	1,440.6	720.3
101,000	~ 107,000	1,206.4	603.2	1,528.8	764.4
107,000	~ 114,000	1,276.0	638.0	1,617.0	808.5
114,000	~ 122,000	1,368.8	684.4	1,734.6	867.3
122,000	~ 130,000	1,461.6	730.8	1,852.2	926.1
130,000	~ 138,000	1,554.4	777.2	1,969.8	984.9
138,000	~ 146,000	1,647.2	823.6	2,087.4	1,043.7
146,000	~ 155,000	1,740.0	870.0	2,205.0	1,102.5
155,000	~ 165,000	1,856.0	928.0	2,352.0	1,176.0
165,000	~ 175,000	1,972.0	986.0	2,499.0	1,249.5
175,000	~ 185,000	2,088.0	1,044.0	2,646.0	1,323.0
185,000	~ 195,000	2,204.0	1,102.0	2,793.0	1,396.5
195,000	~ 210,000	2,320.0	1,160.0	2,940.0	1,470.0
210,000	~ 230,000	2,552.0	1,276.0	3,234.0	1,617.0
230,000	~ 250,000	2,784.0	1,392.0	3,528.0	1,764.0
250,000	~ 270,000	3,016.0	1,508.0	3,822.0	1,911.0
270,000	~ 290,000	3,248.0	1,624.0	4,116.0	2,058.0
290,000	~ 310,000	3,480.0	1,740.0	4,410.0	2,205.0
310,000	~ 330,000	3,712.0	1,856.0	4,704.0	2,352.0

報酬月額 (給料の額)		増加額			
		介護保険非該当 9.40%		介護保険該当 10.90%	
円以上	円未満	全額	折半額	全額	折半額
330,000	~ 350,000	3,944.0	1,972.0	4,998.0	2,499.0
350,000	~ 370,000	4,176.0	2,088.0	5,292.0	2,646.0
370,000	~ 395,000	4,408.0	2,204.0	5,586.0	2,793.0
395,000	~ 425,000	4,756.0	2,378.0	6,027.0	3,013.5
425,000	~ 455,000	5,104.0	2,552.0	6,468.0	3,234.0
455,000	~ 485,000	5,452.0	2,726.0	6,909.0	3,454.5
485,000	~ 515,000	5,800.0	2,900.0	7,350.0	3,675.0
515,000	~ 545,000	6,148.0	3,074.0	7,791.0	3,895.5
545,000	~ 575,000	6,496.0	3,248.0	8,232.0	4,116.0
575,000	~ 605,000	6,844.0	3,422.0	8,673.0	4,336.5
605,000	~ 635,000	7,192.0	3,596.0	9,114.0	4,557.0
635,000	~ 665,000	7,540.0	3,770.0	9,555.0	4,777.5
665,000	~ 695,000	7,888.0	3,944.0	9,996.0	4,998.0
695,000	~ 730,000	8,236.0	4,118.0	10,437.0	5,218.5
730,000	~ 770,000	8,700.0	4,350.0	11,025.0	5,512.5
770,000	~ 810,000	9,164.0	4,582.0	11,613.0	5,806.5
810,000	~ 855,000	9,628.0	4,814.0	12,201.0	6,100.5
855,000	~ 905,000	10,208.0	5,104.0	12,936.0	6,468.0
905,000	~ 955,000	10,788.0	5,394.0	13,671.0	6,835.5
955,000	~ 1,005,000	11,368.0	5,684.0	14,406.0	7,203.0
1,005,000	~ 1,055,000	11,948.0	5,974.0	15,141.0	7,570.5
1,055,000	~ 1,115,000	12,644.0	6,322.0	16,023.0	8,011.5
1,115,000	~ 1,175,000	13,340.0	6,670.0	16,905.0	8,452.5
1,175,000	~	14,036.0	7,018.0	17,787.0	8,893.5


たかが1.47%、されど1.47%です。額に直すと、いくら手取りが減るのがか如実に分かります。

給料の手取りが減って、喜ぶ人はいません。実際に保険料を支払う会社としても、喜べるはずがありません。
 このことは、**実は、下のようなことの前触れなのです。**

年収500万円の社員が50人の会社さん

現在

3,000万円



H29年

750万円UP!

3,000万円



総額3,750万円

7年後（平成29年）には企業負担がこんなに増えてしまいます。

【社会保険料がいくらかかっているかご存知ですか？】

会社と社員が半分ずつ負担します

	①(H21年度)	⇒9月からは	②(H22年度)	H29年には	②(H29年度)
厚生年金保険料	15.704%		16.058%		18.356%
健康保険料	8.24%	⇒3月からは	9.4%		?
介護保険料	1.19%		1.5%		?
合計	25.134%		26.958%		29.256%
合計(除:介護保険)	23.944%		25.458%	最低	27.756%

30%超えは確実!

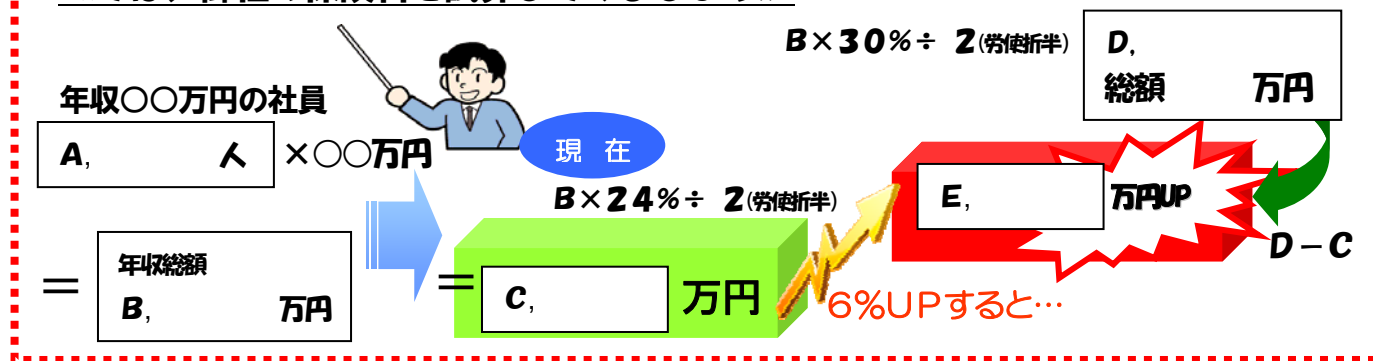
《例 年収500万円の社員の場合》… こんなに負担が増えます

①《現在(H21年2月まで)》	②《来年度(H22年3月から)》	③《7年後 H29年》
1人当たりの保険料:年間約60万円 ⇒ 500万×約24%÷2	①の額が約63.7万円に ⇒ 500万×約25.5%÷2	①の額が約75万円に ⇒ 500万×約30%÷2
同様の社員が10人いれば 年間 約600万円	同様の社員が10人いれば 年間 約637万円 37万円↑	同様の社員が10人いれば 年間 約750万円 150万円↑
※③は保険料30%で試算		

★来年度だけで37万円の負担増、7年後の平成29年度には150万円も負担が増えてしまいます。

★経常利益率が3%と仮定すれば、5,000万円の売上に相当する負担増です。

《では、御社の保険料を試算してみましょう》



如何でしたか? このまま野放しで良いのでしょうか? 対策をしないで大丈夫ですか?

約30通りの知恵(手法)がありますが、『賃金』、『賞与』、『退職金』のいずれか(又はミックス)に手を加えることによって、負担増を軽減することができます。もちろん、賃金の総額は変えません。

「これは!・・・」と思われた方は、**社会保険労務士 山下事務所** まで、ご連絡下さい。

社会保険労務士 山下事務所

所長 山下 隆二

福岡市南区平和2-23-2 TEL 092-982-2595

HP: <http://office-srry@sr-yamashita.com>

Email: office-srry@sr-yamashita.com